

刊行に寄せて



文部科学大臣

荒井 太郎

文部科学省職員に、国家公務員法に定める再就職等規制に違反する行為がありました。このことは、文部科学行政に対する国民の信頼を著しく損ねるものです。省を挙げて猛省するとともに、文部科学省の責任者として、国民の皆さまにお詫び申し上げます。本件につきましては、冒頭に記述がございます。

文部科学省では、教育，科学技術・学術，スポーツ，文化芸術における施策の新しい動きについて、広く国民の皆様に紹介するために、「文部科学白書」を刊行しています。

平成28年度文部科学白書の巻頭特集としては、「リオデジャネイロの軌跡」と「子供たちの未来を育む豊かな体験活動の充実」を取り上げました。

2016（平成28）年に開催されたりオデジャネイロオリンピック・パラリンピック競技大会での日本人選手の活躍は、日本に多くの感動を与えました。巻頭写真「リオデジャネイロの軌跡」では、同大会における日本人選手の活躍，2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会へ向けた機運の醸成，アンチ・ドーピング体制の推進について多数の写真とともに紹介しています。

また、体験活動は人づくりの「原点」であり、未来の社会を担う全ての青少年に、人間的な成長に不可欠な体験の機会を、教育活動の一環として、意図的・計画的に創出することは非常に重要です。特集「子供たちの未来を育む豊かな体験活動の充実」では、体験活動の意義や効果，青少年の体験活動を推進する具体的な取組，そして、体験活動の今後の方向性について紹介しています。

「一億総活躍社会」の実現に当たって、教育，科学技術・学術，スポーツ，文化芸術が担う役割は極めて大きく、文部科学省においても施策の推進に全力を尽くしてまいります。

文部科学行政の推進のためには、国民の皆様の御理解と御協力が不可欠です。本白書が幅広く活用され、皆様の御理解を深めていただく一助となれば幸いです。

